

研究名：多臓器不全を伴う急性ショック脳症・出血性ショック脳症症候群／激症脳浮腫型脳症の臨床像を明らかにすることを目的とした研究

重症の経過となった急性脳症の患者さん（以下重症急性脳症の患者さんと記載します）の人数は多くないので各施設で診療する患者さんの人数も限られています。そのためまとまった報告がなされていません。特に多臓器不全を伴う急性ショック脳症（ASEM）・出血性ショック脳症症候群（HSES）／激症脳浮腫型脳症（AFCE）と呼ばれる急性脳症は急激に症状が悪化するため大変予後が悪い脳症として知られています。そこで今回、国立成育医療研究センターを中心とした多施設共同研究により ASEM・HSES/AFCE と診断された急性脳症の患者さんに着目し、カルテに記載されている臨床情報を後方視的に検討して、臨床像を明確にしたいと考えています。

1. 研究の目的

上記研究の臨床像を明らかにすることを目的としています。

2. 研究の方法

- ①研究対象：2018年1月～2024年12月末までに ASEM・HSES/AFCE と診断された方
- ②研究期間：倫理審査委員会承認後～2030年3月
- ③研究方法：カルテ情報（病歴、検査データ、治療内容等）を匿名化して解析します。

3. 研究に用いる情報の種類

病歴、検査結果、画像所見、治療内容、転帰等

4. 情報の公表

学会発表や学術論文として公表する予定です。個人が特定されることはありません。

5. 研究実施機関

研究代表施設：国立成育医療研究センター 神経内科
共同研究機関：東京女子医科大学八千代医療センターほか

6. お問い合わせ先

【東京女子医科大学八千代医療センターで診療を受けられた患者さんのお問い合わせ先】
東京女子医科大学八千代医療センター 小児科
研究責任者：高梨 潤一
住所：〒276-8524 千葉県八千代市大和田新田 477-96
電話：047-450-6000（代表）

なお、本研究全体に関するお問い合わせは研究代表施設（国立成育医療研究センター 神経内科 阿部裕一）でも受け付けています。